

基地周辺対策特別委員会

令和4年12月7日開催
執行部からの主な報告内容

- 航空機騒音状況記録簿（令和4年8月～10月）
阿多田島住民のご協力をいただき、24件の騒音実態が記録されました。コメントを添えて防衛省へ提出するとともに、騒音対策への配慮と訓練等の情報提供をお願いしています。
- 阿多田島におけるデシベル値測定表（令和4年8月～10月）
阿多田島漁協の屋上に防衛省が設置している騒音自動測定器での測定結果です。90デシベル以上となった回数は、8月17回、9月22回、10月10回で3カ月の合計は49回でした。前年の同期の98回と比べてちょうど半分に減少しています、10月が最も少なく例年と違う傾向となっています。
- 岩国飛行場周辺の航空機騒音状況
防衛省が岩国航空基地の周辺市町25カ所に設置している騒音測定器から計測された値を、うるささ指数（Lden）に変換して集計しています。大竹市内には阿多田島漁協とサントピア大竹が測定地点です。月別のLdenの平均値で測定地点のうち居住区に該当するものを比較すると、8月までは阿多田島が最も高く、9月以降は由宇町が最も高い数値を示しています。
※ Ldenは昼間、夕方、夜間の時間帯に重み付けを行った1日の等価騒音レベルです。
- 11月10日に広島・島根の両県知事が防衛大臣に対し、要望を行ったと説明がありました。
内容としては、広島県や島根県における米軍機の訓練空域が中山間地域に位置し、低空飛行訓練が断続的に繰り返されることで、激しい騒音被害が生じており、周辺住民に与える影響は基地周辺と同様に大きいものとなっていることから、一部地域の住民に負担が生じている現状を改善するため、1番目に低空飛行訓練の中止に向けた措置の実施、2番目に騒音被害の実態把握の実施、3番目に住民負担を軽減するための措置の実施、以上の3項目（要約）

議会改革特別委員会（令和4年10月～12月）

主な協議内容

- 10月25日 ①議長主導のSNS発信
②委員会のテレビ・ネット中継
③自由討議の制度導入
④決算委員会等の意見を正式に議会提案
- 11月21日 議会中継（テレビ・ネット中継）において、予算決算委員会の取り扱いについて協議
- 12月7日 議会報告会「議員定数について」の読み原稿の確認、議会中継（テレビ・ネット中継）において、予算決算委員会の取り扱いについて協議

議員定数については9月議会において、16名の現状維持との結論を得ましたので、以降は主に現在実施している4つの取組の課題や今後の取組目標などを議題に協議しました。

特に議会中継（テレビ・ネット中継）については、委員会中継の拡充を図るため、各委員会にも協議していただき、調査・研究を進めています。